

列部門	0311-04	海面養殖業
行部門	0311-041	海面養殖業

(農林水産省)

日本標準産業分類の小分類041「海面養殖業」の生産活動を範囲とする。

ISIC: 「0500 漁業, 魚の人工ふ化業又は養殖業; 漁業に付帯するサービス業」

[生産物例示]

まあじ, ぶり類, たい類, くるまえび, ほや類, ほたてがい, かき類, こんぶ類, わかめ類, のり類, 真珠

列部門	0312-01	内水面漁業
	0312-02	内水面養殖業
行部門	0312-001	内水面漁業・養殖業

(農林水産省)

日本標準産業分類の小分類033「内水面漁業」及び042「内水面養殖業」の生産活動を範囲とする。

ISIC: 「0500 漁業, 魚の人工ふ化業又は養殖業; 漁業に付帯するサービス業」

[生産物例示]

内水面漁業: さけ類, からふとます, さくらます, ひめます, にじます, いわな, わかさぎ, あゆ, しらうお, こい, ふな, うなぎ, しじみ, えび類, 藻類

内水面養殖業: ます類, あゆ, こい, ふな, うなぎ, ティラピア, 淡水真珠, きんぎょ, 錦ごい

[注意点]

平成2年表において, 昭和60年表の行部門「0312-011内水面漁業」及び「0312-021内水面養殖業」を統合。

2 鉱業

列部門	0611-01	金属鉱物
行部門	0611-011	鉄鉱石
	0611-012	非鉄金属鉱物

(通商産業省)

日本標準産業分類の中分類05「金属鉱業」の掘採及び選鉱活動を範囲とする。

ISIC: 「1200 ウラニウム及びトリウム鉱業」, 「1310鉄鉱業」, 「1320非鉄金属鉱業(ウラニウム鉱及びトリウム鉱を除く。)」

[生産物例示]

非鉄金属鉱物: 銅鉱, 鉛・亜鉛鉱, 金鉱, 銀鉱, すず鉱, タングステン鉱, 硫化鉄鉱

[変更点]

平成2年表の列部門「0611-01鉄鉱石」及び「0612-01非鉄金属鉱物」を統合。行部門「0612-011銅鉱」, 「1612-012鉛・亜鉛鉱」及び「0612-019その他の非鉄金属鉱物」を統合。

列部門	0621-01	窯業原料鉱物
行部門	0621-011	石灰石
	0621-019	その他の窯業原料鉱物

(通商産業省)

日本標準産業分類の小分類082「窯業原料用鉱物鉱業(耐火物・陶磁器・ガラス・セメント原料用に限る)」の掘採及び選鉱活動を範囲とする。

なお, 他部門で発生する屑・副産物(石こう, 化学石こう, 高炉ガス灰, フライアッシュ, ガラス屑)は本部門を競合部門とする。

ISIC: 「1410 石・砂及び粘土採取業」, 「1429他に分類されないその他の鉱業及び採石業」

[生産物例示]

その他の窯業原料鉱物: けい石, けい砂, ドロマイト, ろう石, 粘土, 長石, 陶石, カオリン

[変更点]

平成2年表の列部門「0621-01石灰石」及び「0621-09その他の窯業原料鉱物」を統合。

列部門	0622-01	砂利・採石
行部門	0622-011	砂利・採石

(通商産業省)

日本標準産業分類の小分類081「採石業、砂・砂利・玉石採取業」の掘採、採石及び選鉱活動を範囲とする。

I S I C : 「1410 石、砂及び粘土採取業」

〔生産物例示〕

砂利、砂、かんらん岩(精鉱)

列部門	0622-02	砕石
行部門	0622-021	砕石

(通商産業省)

日本標準産業分類の細分類2581「砕石製造業」の生産活動を範囲とする。

なお、他部門で発生する副産物(鉱滓)は本部門を競合部門とする。

I S I C : 「2696 石材切り出し、型削・磨き業」

〔生産物例示〕

砕石、石材

列部門	0629-09	その他の非金属鉱物
行部門	0629-099	その他の非金属鉱物

(通商産業省)

日本標準産業分類の小分類083「粘土鉱業(別掲を除く)」及び089「その他の非金属鉱業」の掘採及び選鉱活動を範囲とする。

なお、他部門で発生する副産物(硫黄)は本部門を競合部門とする。

I S I C : 「1410 石、砂及び粘土採取業」

〔生産物例示〕

重晶石、ベントナイト・けいそう土等の粘土、オリビンサンド

列部門	0711-01	石炭
行部門	0711-011	原料炭
	0711-012	一般炭・亜炭・無煙炭

(通商産業省)

日本標準産業分類の中分類06「石炭・亜炭鉱業」の掘採及

び選鉱活動を範囲とする。

なお、石炭掘採において発生する炭田ガスは副産物扱いとし、「2121-019その他の石炭製品」を競合部門とする。

I S I C : 「1010 無煙炭鉱業・固形燃料製造業」、

「1020 亜炭鉱業・固形燃料製造業」、

「1030 泥炭採掘業・固形燃料製造業」

〔生産物例示〕

原料炭、一般炭、無煙炭、亜炭、雑炭

〔変更点〕

平成7年表において、従来の「石炭・亜炭」を名称変更した。

〔注意点〕

平成2年表において、昭和60年表の行部門「0711-011原料炭(国産)」と「0711-012原料炭(輸入)」を、また、「0711-013一般炭・亜炭・無煙炭(国産)」と「0711-014一般炭・亜炭・無煙炭(輸入)」をそれぞれ統合した。

列部門	0721-01	原油・天然ガス
行部門	0721-011	原油
	0721-012	天然ガス

(通商産業省)

日本標準産業分類の中分類07「原油・天然ガス鉱業」の掘採及び選鉱活動を範囲とする。

I S I C : 「1110 原油及び天然ガス採取業」

〔品目例示〕

天然ガス：液化天然ガス、圧縮ガス

〔変更点〕

平成2年表の列・行部門「0721-01、-011原油」及び「0731-01、-011天然ガス」を統合。